

広野町民生委員児童委員協議会

(平成 25 年 7 月 19 日掲載記事)

(1) 地理的情報

東経 141.00 度 北緯 37.13 度 面積 58.39 平方キロメートル
東西に 13km、南北に 7km に広がる地域

東京都心から 238 km、宮城県仙台市から 128 km 離れた福島県浜通り地方の中部、双葉郡の最も南に位置し、東に太平洋を臨み、西に阿武隈山系、南はいわき市、北は楡葉町と隣接しています。

総人口 5,208 名(男性 2,587 名・女性 2,621 名) 世帯数 1,904 世帯 (平成 25 年 4 月 1 日現在)

(2) 被害状況

家屋全壊 113 世帯 家屋半壊 255 世帯 一部損壊 1,623 世帯
床上浸水 30 棟
津波による死者 2 名 行方不明 1 名
原発事故による避難者数 4,375 名 / 5,208 名

(3) 復旧・復興状況

国道・県道・町道及び電気・電話・上下水道・ガス・郵便・運送等は開通済み
役場・公民館等の公共施設は平成 24 年 3 月から再開
保育所・幼稚園・小学校・中学校は平成 24 年 9 月から再開

(4) 民生委員・児童委員の状況

- ①定員 15 名 (民生委員児童委員 13 名、主任児童委員 2 名)
- ②現員 15 名 (民生委員児童委員 13 名、主任児童委員 2 名)
自宅で生活している委員と仮設住宅で生活している委員がいます。

③主な活動内容

・発災直後からしばらくの間は、何をしたらよいのかもわからない状況のなか、まずは両隣の住民を助けるという意識でそれぞれの委員が活動していました。

平成 23 年 8 月に震災後はじめて定例会を開催し、当時は県外への避難をしていた委員もいたので無理のない範囲で集まり、仮設住宅の割り振りや訪問活動の班分けを行ない、今後の活動について話し合いました。定例会後からは、各委員が目標をもって活動することができるようになりました。

- ・平成 23 年度はひと月おきの開催であった定例会も、平成 24 年 4 月からは委員も県内に戻り、月 1 回開催しています。月によって、3 か所あるいわき市の仮設住宅を訪問し、その後集会場にて定例会を開催し、意見交換、情報共有を行なっています。

- それぞれ毎月 1 回程度、町内の高齢者等世帯や町外の仮設住宅における高齢等世帯の訪問活動を行なっています。震災前には訪問活動は委員 1 名で行なっていましたが、震災後は 3、4 名で行なっています。以前よりも委員同士のコミュニケーションも図れ、複数での活動が委員自身の支えにもなっています。
- また、社協の事業である町内外の高齢者世帯への配食サービスに、民児協としてボランティア登録を行なって協力しています。



(仮設住宅訪問の様子)



(自殺予防セミナーの様子)

(5) 今後の取り組み

町内ならびに避難居住地域において、町民の不安定な生活が続いています。本年は一斉改選の年でもありますが、こんなときだからこそ委員を続けていこう、と私たちは考えています。今後も、少しでも町民の生活の支えとなる活動を継続していきたいと思っています。